





（2面よりつづ）  
ので、キリスト教教会は遠くから関わったのかもしれません。最近は多くのキリスト教学校が巡回して開かれていて、被災地の方々から「アーメン」の学校は違うね」と言われます（笑）。  
「どのよなきさうかで始めましたか」という設問に「ギリスト教学校の使命を感じて」の回答が多いのは、やはり使命を自覚してそれを形にするのは大事などとだと考へているからだと思います。キリスト教学校に勤めていて長かったと思いります。  
伊藤倉 私も同じように思いました。本学が幹事会校を務める大連撫寧分校のソフトワークには1～6校の参加がありますが、実際ネットワークで本学からラボランティアを実施したりと呼びかけて、それに応じてくださる学校は殆ど年リスト教学校なんですね。キリスト教学校とは連携が保たれ、継続しています。もちろんそれ以外の学校も関わりはあるのですが、大学としての関わりといいより、学生単体としての関わりが多です。  
坪井 大学では主として学生の呼びかけで行動する場合が多く良いことだと思います。キリスト教学校ではそのような学生を作り出す基础设施があるのではないかでしょうか。自校では大学と中高があり、一緒にボランティア活動をする時もあるので

動きを見せて中高生が発達の動きを見せてます。大学と中高の違いが、一緒に行動することでより良い方で活動しているようです。中高生だけだとお膳立てをして誰かがしないと、なかなか動かないですね。西 熊本地震の時に、Y.M.C.A全催の益城町のボランティアで大学生と中高生を連れて行きましたが、お互いに良い刺激にならなかったようです。中高生は大学生の姿を見見て動かなければと思ったようですね。松井 自校でも大学生と一緒に行きますが、大学生はお金がなく、中高生は保護者から出してもらっています。作業の中心は大学生が担当で、経済的負担は中高生です。

に学校の敷地内に地元の人が来るので、一人暮らしの高齢者がいる等の情報も共有もできたので、そういう情報を元にして避難所を設置することができない所に来るまでのできない連絡がマネージャーからFAXでして、学生が何が必要か連絡し、スマホの地図によって届けるとどうかを尋ねた。事前に一つの基盤として地域との関わりが作成されていたのが避難所となりました。それでアットリーチという形での活動ができました。そこで、私たちに学生が物資を手配したりしました。ケアマネージャーからFAXで、行くところは学生ボランティアの従業員が分野で支援する立場でいました。うなづかれていたのが避難所でした。ですが、私が店は避難所で、学生が支援するボランティアをしていました。そこでボランティアとして働くときに、大人を良い意味で使う裏技ができるのではないかと思います。西先生のお話には、このからの支援のヒントがあつたと思います。避難所を設置して学生がそこでボランティアとして働くときに、大人を良い意味で使う裏技ができるのではないかと思います。在室避難をしていく支援が全然できなかつたのです。西先生の話には、このからの支援のヒントがあつたと思います。避難所を設置して学生がそこでボランティアとして働くときに、大人を良い意味で使う裏技ができるのではないかと思います。西先生の話には、このからの支援のヒントがあつたと思います。避難所を設置して学生がそこでボランティアとして働くときに、大人を良い意味で使う裏技ができるのではないかと思います。

その後中越地震が起つた時は築造したとの避難所で、仮設住宅も最終的に復興住宅としての形を取らざるを得ないものである。人や場所のどちらが簡単であるので簡単にほんとうに、阪神淡路大震災の時より、地域で動くとお互いに気心が知れていて安心感がある。しかし、阪神淡路大震災の時は自殺した人も少なく、自分たちも同じで、同じ町に帰れることが出来ないのですから、仮設住宅は閉鎖された後同じことであります。そこで、同じであります。ただ教会でボランティアセンターで開かれますので、今までの間も行政が行っていることについてはいろいろ聞いております。私がお話をうながすことがあります。わざわざお話をうながすので、私たちがお話をうながすことはございませんが、行政が行っていることについてはいろいろ聞いております。それが、行政の間を何回か回ったときに言われたのですが、日赤はお金も借りておらず、私たちが埋めいかなければいけないのであります。また、東日本大震災直後までも大きなからいふ織物で、間に聖公会の牧師と葬式で連絡が取れました。そこで、お話をうながすことがあります。そこで、お話をうながすことがあります。

## 災害ボランティアを 計画したい学校への提案

卷六

は温泉もあり、学生たちを連れて行きました。難所を設置して学生がそこでボランティアとして働くべきだ、大人を震へ

假設住宅で何とか人間関係が作られたかなと言え  
るときに假設住宅が潰され、それが復興住宅に取り込まれて今まで完全な

う予測があるので、どうぞお手に取  
り、販売して下さい。販売の仕方なども  
ある程度決まっていますので、販売の仕  
方などもできるだけお手伝いをさせて  
いただきます。よろしくお願いします。

とにかく被災地へ行つたら手を挙げないで

に、「協力体制」があり、「二京」「折りの輪」の活動など、わが国が大きいからかもしれないが、せん。

## 東動ま

1887  
と克己  
ムの志  
のハリ  
な両親  
縁を受  
たが、  
うれして

された日本志願して母代わての姉妹となる。! 鉄道乗車乗船のレンジ君女は同様

## キリスト教教育者

愛と克己の人

### 経営者と幹部の前角経営者と幹部

## 英和学院の前身静岡英和女学院 校長ミス・カニンギーム先生



て根ざした教育を始めた。静岡県内各地から旧幕臣や地方豪農の子女が次第に集まって来た。彼女は英語の出来る洋服の女性として、欧化主義時代の先端を行く「女学校教育」を意欲的に行っていった。2年生の任期があると、彼女は金沢に行き、孤帆院と二人の授業所などの福祉施設や幼稚園の基盤作りに熱心に奉仕した。その後、静岡に戻り第4代、第6代の校長を務めた。当時の日本は英米同様が堅苦になり日本人の英速邦カナに対する信頼も強まり、その時勢の中で彼女は英和附属幼稚園を設立して一貫教育体制を目指すことにした。

1907年に帰国した彼女は当時、カナダに急増した多民族の救済のために熱心に獻身的働きをした。彼女はどんな時でも愛と己の精神で立ち上がり、愛する者のために一鳥を獻けた女性であった。

